

# 「注意喚起」を取り止め

次亜塩素酸水は安価で効果的な殺菌剤として広く使用されてきた。新型コロナウイルスに対しても殺菌・不活化効果が確認されている。だが、次亜塩素酸水を超音波噴霧器で空間噴霧する空間除菌について、政府（経産省・厚生省）は、当初、次亜塩素酸水の空間噴霧の効果否定。健康被害の可能性を示唆し、「推奨できない」としていたが、後に「適切に使用することを妨げない」「消費者が判断すること」と見解を改め、事実上、空間噴霧を「解禁」した。その経緯はISM前号で詳報した通りだ。政府が方針を転換するまでのおよそ1年半の間に新型コロナウイルスは猛威を奮い、多くの国民が感染、重症化、死亡した。

## アルコール消毒剤の代替消毒方法を検証

次亜塩素酸水は、次亜塩素

酸（ $\text{HClO}$ ）を含む水溶液で、塩酸や食塩水を電気分解することによって生成される。約30年前に電解生成法が開発され、安価で効果の高い殺菌剤として広く利用されてきた。強酸性・弱酸性・微酸性の3種類が食品添加物に指定され、黄色ブドウ球菌、MRSA、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ菌、ノロウイルス、インフルエンザウイルスなど幅広い菌やウイルス

に対し殺菌・不活化効果が認められている。主に食品工場でのカット野菜の殺菌などに使用されている。

一方、安全・安価な殺菌剤であることから、病院や高齢者施設、学校、幼稚園・保育所などでは、コロナ以前から広

く利用されてきた。ハンディスプレーでテーブルなどに噴霧し、布で拭き取ることで除菌する方法や、加湿器・噴霧器で空間に噴霧する方法も用いられてきた。

名称が似ている次亜塩素酸ナトリウム（ $\text{NaClO}$ ）水溶液と次亜塩素酸水はまったく別物なので注意が必要だ。次亜塩素酸ナトリウム水溶液は「ブリーチ」「ハイター」などの商品名で知られる塩素系漂白剤・殺菌剤に用いられるもので、強いアルカリ性の水溶液だ。〆混ぜるな危険〆の表示が示す通り、通常の洗剤と混ぜると有害な塩素ガスを発生させる。これに対し、次亜塩素酸水は酸性で、食品添加物として認可されているように、人体への影響はほとんどないと言われる。

2020年4月、新型コロナウイルスが猛威を奮い、政府は最初の緊急事態宣言を发出。マスクや防護服などが不足する事態となっていた。広く用いられるようになっていたアルコール消毒剤も同様で、ドラッグストアの店頭価格が高騰。政府は、消毒剤メーカーに増産を要請したほか、酒造メーカーが高濃度エタノール消毒液生産に乗り出した。一方で政府は、アルコール消毒液の需要を抑制するため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）に一定の効果が期待できる代替的な消毒方法の有効性の評価を委託。界面活性剤（台所用洗剤など）、次亜塩素酸水、第4級アンモニウム塩の3種類が対象となった。

NITEは2020年5月



28日に中間報告を発表。次亜塩素酸水については継続して検討することとした。複数の研究機関による検証の結果のうち、国立感染症研究所では有効性が確認されたが、高いハードルを設定していた北里大学では「微酸性電解水のウイルス不活性効果は認められなかった」からだ。なお、この検証試験は対象物と接触させて消毒する場合の効果を評価したもので、手指等人体への影響や、空間噴霧の有効性・安全性は評価の対象外である。

## NHK報道から始まった ネガティブキャンペーン

その直後、NHKが「次亜塩素酸水の効果はなかった」「空間噴霧は危険」と報道した。後のどちらも誤報と判明する（前号参照）のだが、これをきっかけに民放のワイドショーなどでもネガティブキャンペーンのように「次亜塩素酸水の空間噴霧には効果がない、危険だ」などと採り上げるようになった。それまで次亜塩素酸水の空間噴霧を行っていた



た福祉施設が噴霧器の使用を中止した事例もある。

札幌市内のある高齢者施設。数年前のノロウイルスの流行を期に、それまでのハンディスプレーに加え、次亜塩素酸水の空間噴霧を始めた。据置型の噴霧器を台車に乗せて移動して使用していた。

2020年の初夏、この施設で新型コロナウイルス陽性者が発生し、たちまち施設内に感染が広がった。クラスター認定され、国立感染症研究所の専門家とDMAT（災害派遣医療チーム）が派遣されてきた。空間噴霧器を見た専門家の一人が施設の事務長に

言った。

「空間噴霧はウイルスを拡散させるから、使用を中止するように」

以来、同施設では空間噴霧を行っていない。その後、クラスターが拡大。複数の重傷者・死亡者を出し、クラスターが収束するまでに数カ月を要した。

前述の通り、政府は、次亜塩素酸水およびその空間噴霧に関する見解を転換した。2021年10月21日、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部が各都道府県・保健所設置市・特別区の衛生主幹（部）局宛てに発した事務連

絡「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」において、次亜塩素酸水の空間噴霧についてとりまとめたものだ。厚生省・経産省・消費者庁特設ページ「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」の「5.（補論）空間噴霧について」【参考情報3】で、「消毒効果を有する濃度の次亜塩素酸水を吸い込むことは、推奨できません」と記載していることについて、同事務連

絡では、「これは、消毒剤や、その他ウイルスの量を減少させる物質を空間噴霧して使用することは、目や皮膚への付着や吸入による健康影響のおそれがあることから推奨しない、という趣旨ですので、個々の製品の使用に当たっては、その安全性情報は使用上の注意事項等を守って適切に使用してください。」「なお、同ホームページの『5.（補論）空間噴霧について』における『消毒剤や、その他ウイルスの量を減少させる物質』に該当する製品が、健康影響のおそれがあるものかどうかについて

「つくる、うる、かう」に地域共同体の理念を。

生産者と消費者を結ぶフリーペーパー

# 『イーハトーヴ』

奇数月1日発行 無料配布

お求めはお近くのスーパーで。

株式会社 情報企画

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目緑苑ビル 913  
TEL 011-271-7651 FAX 011-271-7652



## 新型コロナウイルス対策

注意！  
次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）とは別のもので、

# 「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の注意事項 アルコールとは使い方が違います

拭き掃除には、有効塩素濃度80ppm以上のものを使いましょう

※ジクロロイソシアヌレートナトリウム等の粉末を水に溶かしたものを使う場合、有効塩素濃度100ppm以上のものを使いましょう。  
※その他の製法によるものは、製法によらず、必要な有効塩素濃度は同じです。

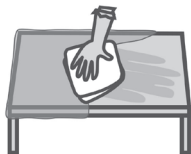
### ①汚れをあらかじめ落としておく

目に見える汚れはしっかり落としおきましょう。

元の汚れがひどい場合などは、有効塩素濃度200ppm以上のものを使うことが望ましいです。

### ②十分な量の次亜塩素酸水で表面をヒタヒタに濡らす

アルコールのように少量をかけるだけでは効きません。



### ③少し時間をおき（20秒以上）、きれいな布やペーパーで拭き取る

#### 安全上の注意

- 製品に記載された使用上の注意を正しく守ってください。
- 希釈用の製品は正しく希釈して使いましょう。
- 酸と混ぜたり、塩素系漂白剤と混ぜたりすると、塩素が発生する危険があります。（また、開栓時は、塩素が既に発生している可能性に注意してください。）
- 人が吸入しないように注意してください。人がいる場所で空間噴霧すると吸入する恐れがあります。
- 濃度が高いものを使う場合、直接手をふれず、ゴム手袋などを着用してください。

#### 効果的に使うためのポイント

- 使用の際は、酸性度・有効塩素濃度や使用期限等を確認しましょう。
- 有機物に弱いので、汚れを落としてから使用してください。
- 空気中の浮遊ウイルスの対策には、消毒剤の空間噴霧ではなく、換気が有効です。

新型コロナウイルスに有効な消毒・除菌方法一覧はこちら



本資料は、2020年6月26日現在の知見に基づいて作成されたものです。修正されることがあります。



## 方針転換前のフライヤー（表）

これは、政府が次亜塩素酸水の空間噴霧に関する注意喚起を取り止めたと解するほかない。

消費者庁は今年1月20日、大幸薬品の空間除菌剤「クレベリン」について、「空間に浮

遊するウイルス・菌を除去」などの表示に合理的根拠がなく、景品表示法に違反するとして同表示を止めるよう措置命令を出した。対象となったのは、「クレベリン」のスティックペンタイプ、スティックフックタイプ、スプレー、ミニスプレーの4商品。「クレベリン」は二酸化塩素素を利用した除菌剤で、前記4タイプのほか、「置き型」がある。

大幸薬品のホームページによると、2021年11月26日、消費者庁から同社に対し、クレベリンの表示が不当表示に当たるとして、景品表示法に基づき措置命令案に対し、弁明の機会が付与された。同社は12月14日、措置命令の差止訴訟を提起し、併せて仮差止めを申し立てた。東京地方裁判所は2022年1月12日、

主力の「クレベリン置き型」について、同社が消費者庁に提出した試験結果等が二酸化塩素素による除菌・ウイルス除去効果の裏付けとなる合理的根拠に当たると認め、措置命令の仮差止めを決定。一方で、置

けるだけでは効きません」としているほか、空間噴霧については、以下の3点の記述がある。

- 1、●人が吸入しないように注意してください。人がいる場所で空間噴霧すると吸入する恐れがあります。
- 2、●空気中の浮遊ウイルスの対策には、消毒剤の空間噴霧ではなく、換気が有効です。
- 3、※人体に付着したウイルス

は、各製品の安全性情報や使用上の注意事項等を確認いただき、消費者に御判断いただくものと考えています」とした。

## 空間噴霧の注意喚起 フライヤーから削除

ややわかりにくいですが、政府の方針転換がよくわかる資料がある。テーブルなどモノの表面を拭き掃除で除菌する場合の次亜塩素酸水の使用方法

「②十分な量の次亜塩素酸水で表面をヒタヒタに濡らすアルコールのように少量をかける」

「①汚れをあらかじめ落としておく」

「③少し時間をおき（20秒以上）、きれいな布やペーパーで拭き取る」

遊するウイルス・菌を除去」などの表示に合理的根拠がなく、景品表示法に違反するとして同表示を止めるよう措置命令を出した。対象となったのは、「クレベリン」のスティックペンタイプ、スティックフックタイプ、スプレー、ミニスプレーの4商品。「クレベリン」は二酸化塩素素を利用した除菌剤で、前記4タイプのほか、「置き型」がある。

方針転換前のものは「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の注意事項のタイトルで、「アルコールとは使い方が違います」とある。拭き掃除については「②十分な量の次亜塩素酸水で表面をヒタヒタに濡らすアルコールのように少量をかける」

「①汚れをあらかじめ落としておく」

「③少し時間をおき（20秒以上）、きれいな布やペーパーで拭き取る」

## 新型コロナウイルス対策

注意！  
次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）とは別のものです。

# 「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の使用方法

拭き掃除には、有効塩素濃度80ppm以上のものを使いましょう

※ジクロロイソシアヌレートナトリウム等の粉末を水に溶かしたものを使う場合、有効塩素濃度100ppm以上のものを使いましょう。  
※その他の製法によるものは、製法によらず、必要な有効塩素濃度は同じです。

### ①汚れをあらかじめ落としておく

目に見える汚れはしっかり落としおきましよう。

### ②拭く対象物に対して十分な量を使用すること

用法・用量を守りましよう。



### ③きれいな布やペーパーで拭き取る

20秒反応させた試験を行い有効性を確認しています。

#### 安全上の注意

- 製品に記載された使用上の注意を正しく守ってください。
- 希釈用の製品は正しく希釈して使いましよう。
- 酸性の製品やその他の製品と混合・併用しないでください。
- 眼や皮膚についたり、飲み込んだりしないよう、注意してください。
- 「次亜塩素酸ナトリウム」を水で薄めただけでは、「次亜塩素酸水」になりません。

#### 効果的に使うためのポイント

- 使用の際は、酸性度（pH）・有効塩素濃度や使用期限等を確認しましよう。
- 有機物に弱いいため、汚れを落としてから使用してください。
- 紫外線に弱いため、遮光性のボトル等を使用し、冷暗所に保管しましよう。

新型コロナウイルスに有効な消毒・除菌方法一覧はこちら。



本資料は、2020年6月26日現在の知見に基づいて作成されたものです。修正されることがあります。



方針転換後のフライヤー（表）

き型以外の4タイプについて同社の主張を退けた。同社は翌13日、東京高等裁判所に即時抗告している。

消費者庁の措置命令は、東京地裁が合理的根拠を認めた「置き型」を除く4タイプのペルクリンに対して行われたものだが、東京高裁での審理前に行われており、極めて異例だという。他社の同種製品はお咎めなしというのも不可解だ。

アルコール業界に忖度？  
政府が生んだエアポケット

政府はここでも「空間除菌」「二酸化塩素」をターゲットにしている。なぜ、ここまで「空間噴霧」や「次亜塩素酸水」「二酸化塩素」に拘泥するのか。

一説には、消毒用アルコールの存在がある、という。前述のように、2020年春頃、政府は消毒用アルコールが不足したため、メーカーに増産を

要請している。メーカー側もそれに応じ、ラインを増設して増産した。アルコールより安価で、モノも空間も除菌できる次亜塩素酸水や、空間除菌を謳う二酸化塩素がアルコールのシェアを奪っては困る、との判断が働いたのではないか、というのだ。

NITEの中間報告で次亜塩素酸水の効果が確認され、直後に空間噴霧は危険との誤情報が流れたのが2020

年5月。政府が次亜塩素酸水の空間噴霧に関する方針を転換し、注意喚起を取り止めたのが2021年10月。ここに1年5カ月のタイムラグがある。これは政府の行為によって生まれたエアポケットと言える。この間に新型コロナウイルスは第3波、第4波、第5波と猛威を奮い、多くの国民が感染、重症化し、死亡した。空間噴霧が続けられていたら感染者を少なくできたという確証はない。しかし、あらゆる手段を尽くして感染拡大を防ぐべきだったことは間違いない。その手段の一つを、政府の思惑や業界の都合で封じてしまっていたとしたら、その責任は重い。

いずれにしても、政府が次亜塩素酸水の空間噴霧について方針を転換し、事実上、解禁した。事務通知は全国の都道府県や保健所設置市に送付されているが、地方の保健所や個々の医療・福祉施設までその内容が届いていないケースもあり、情報のアップデートが必要だ。

（堀武雄）

# 自費出版のお手伝いをします。



自叙伝、小説、詩集・絵画集などの文学本、写真集・絵画集の芸術本など1冊の本にする計画をお持ちではありませんか？

私たちが丁寧に、総力を挙げてお望みどおりの1冊にします。

お問合わせは 株式会社 情報企画

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目緑苑ビル913  
TEL 011-271-7651 FAX 011-271-7652